

薬だつ知識

技術の進歩によって、医療の世界でもたくさんのロボットが活躍をしているのをご存知でしょうか。手術ロボットや介護ロボットについてお聞きになったことがあるかもしれません。

実は、薬局でもロボットは活躍しています。今回は、そのような薬局で活躍するロボットについてご紹介したいと思います。

皆さんが薬局で多くの薬を一包化してもらうことがあると思います。自動分包機によって、薬剤師が設定した薬を袋詰めしてくれるのです。自動分包機も進歩しており、現在では粉の計量から混合まで自動化されたロボットもあります。

また、薬が正しく調剤されたかをチェックするための補助ロボットもあります。バーコードや画像認識を利用

50. 薬局とロボット 使いこなす知識が重要

して、薬の内容が正しいかをチェックするのです。

このように昔と比べて薬局でのロボットの活躍は飛躍的に増え、これからもより高性能なロボットが開発されることが期待されています。

一方で適正にロボットを活用するためには、十分な専門知識とチェック体制が必要です。まずはロボット自体の設定や、セットする薬が正しく行われる必要があります。

そのために、薬剤師はダブルチェックをしながら薬剤を入れていきます。また、ロボットの調剤が正しく行われているかも必ずチェックします。

最先端のロボットとそれを活用する薬剤師がタッグを組んで、より正確に効率的に皆さんのお薬をご準備できるように毎日頑張っています。

これからも、さまざまなロボットや人工知能(AI)が薬局でも活躍していくと思いますが、同時にそれを管理して活用する薬剤師の存在も重要になってくると感じています。

(鹿児島県薬剤師会 療福祉委員会・丸野桂太郎)



分量を正確に計り、薬剤を自動調合するロボット。使いこなすには専門的な知識が必要だ

「薬だつ知識」は毎月第2金曜日掲載します。

「令和3年12月10日(50. 薬局とロボット)」